沖縄 KIN トライアスロン大会報告書

作成者：福元 テツロー
開催日：2025 年 11 月 16 日（日）
会場：沖縄県金武町（KIN トライアスロン大会会場）

１．大会概要

今シーズン最終戦として位置づけていた「沖縄 KIN トライアスロン」に出場いたしました。
本大会はスイム・バイク・ランの総合力が問われるタフなコース設定で、シーズン締めくくりの大会として、多くのトップアスリートが集いました。

２．レース結果

種目	記録	順位	備考
スイム	28 分 21 秒	19 位	
バイク	2 時間 04 分 14 秒	7 位	
バイク終了時点	2 時間 35 分 49 秒	総合 7 位	
ラン	—	—	10km 地点でリタイア（DNF）
最終結果	**DNF（未完走）**	—	レースナンバー3052／53 歳／

３．レース経過と所感

完走を目指してできる限りの準備をして挑みましたが、今回は足が持ちませんでした。
完走できなかったことは悔しい限りですが、逆に「この状態で完走して良い結果が出てしまうと、自分を勘違いしてしまう」とも感じています。

今回の結果は、「今の自分のままではダメだ」という明確なサインとして冷静に受け止めています。

バイク終了時点では総合８位と上位を維持していましたが、ランに入る前から脚が限界を迎えました。現在、専門家が指摘している“神経系の病気”の可能性で、帰省後に診断と治療を受けました。

４．今シーズンの振り返り

今シーズンは、エイジ日本選手権、KIN トライアスロンと続き、結果こそ残せませんでしたが、多くの出会いと経験を得ることができました。怪我や神経痛に苦しんだ１年ではありましたが、その中で新たな治療法や再生医療の知識を得ることができ、同じように悩むアスリートへのアドバイスやサポートの幅を広げることができました。

「怪我のないアスリートライフを実現したい」という自分の夢が、
やがては「みんなの夢」へとつながると感じています。
この経験が、将来の活動の大きな糧となりました。

５．プロとしての気づき

結果を残せなくなった今の自分と、結果を出していた頃の自分。
その違いを通じて、改めて「プロとは何か」を考えさせられました。

大怪我を乗り越えて復活した人が、最近よく声をかけてくれます。自分の存在が誰かの力になっていることに気づきました。この気づきこそ、結果以上に大切な報酬だと感じています。

６．来シーズンに向けて

力を発揮できなかったり、負けることは決して面白いものではありません。しかし、「挑戦する姿勢」を持ち続けることこそ、アスリートとしての誇りだと思っています。

今シーズンの悔しさを糧に、必ず這い上がります。
体のケア、神経治療、再生医療の知見を活かし、2026 年シーズンでは「結果」と「心の強さ」の両面で飛躍を遂げます。

7．まとめ

- 今大会結果：DNF（途中棄権）：神経系トラブルによりリタイア
- 今後：治療・再調整の上、2026 シーズンへ完全復帰予定

Dreamer
プロマインド・トライアスリート
福元 テツロー（Tetsuro Fukumoto）






OKINAWA
TRIATHLON
START
OKINAWA
TRIATHLON




アトム
PEUGEOT
3052
ATOM
WORKS


福元
テツロー
3052
ATOM
WORKS